

22 全国曹洞宗青年会

# SOUSEI

178  
2017.8



特集1

## 第22期スタート! 禅を世界へ、 そして未来へ

特集2

宗派を超え、  
生活者視点で考える  
現代の僧侶

# 新会長 倉島隆行 インタビュー

倉島隆行

全日本仏教青年会第21代理事長  
世界仏教徒青年連盟青少年育成委員会副委員長  
昭和52年1月25日生まれ(40歳)  
平成11年大本山永平寺安居  
未来の住職塾第5期生

特集1

第22期スタート

禅を世界へ、  
そして未来へ

今期のスローガン『禅を世界へ、そして未来へ』に込めた思いと見据える未来を伺うべく、倉島会長の自坊である三重県津市四天王寺を訪ねました。

「坐禅をしない禅僧は、ラーメンを作らないラーメン屋さんと同じ」

その気迫に圧倒されどおしだったインタビュウの様子をお伝えします。

今期は禅を前面に打ち出したスローガンとなりますが、自身にとつて禅とは。



曹洞宗僧侶の核たるところは坐禅。それしかありません。多くのお寺が様々な試みをして

いますが、やはり活動の中心に坐禅があつてこそではないでしょうか。ラーメン屋さん毎日仕込みに精を出し、味を追求し、やっとお客さんが来てくれる。地元にも人里離れたところながらも、味へのこだわりを強く持つてやっつらっしゃるお店があつて、とても繁盛しています。我々も自分の味を求めていかなければなりません。

坐禅会を開いても人が来ないというのは言い訳であつて、そこには情熱と工夫が足りないのです。狸しか来ないなら狸と坐ればいいのです。情熱がない姿は、世間の方に見透かされてきています。自分で坐禅会

の看板を出して、定期開催に責任を持つところに僧侶の自覚が生まれるのです。

### 禅の原体験

私が子どもの頃、祖父が「得度するということとは親が親ではなくなるのだ。親が師匠になるのだぞ」と真剣に教えてくれました。厳しい祖父で私は3歳から自坊の坐禅会で坐らされてきました。その経験が私の魂に生きているのだと思います。

### ラーメンの無いラーメン屋さん

ラーメン屋さんがラーメン作りが苦手、メニューに餃子しかないようではお店として成り立たないでしょう。お客さんもつき

聞き手  
広報副委員長  
織田秀道



ません。同様に、坐禅をしなければ禅僧ではないというのは当たり前です。

私たちは厳しい修行を経験して偉くなつたような気がちです。しかしそこから自分の名前で坐禅会を開催してみると最初は人が集まらず、自分のレベルの低さが露呈されます。でもその現実を直視しなければ何も始まりません。その厳しさを求めていくところに僧侶としての伸び代があるのです。

そして自分も一緒に坐ることです。警策を持って歩いて、涼しい顔をして法を語るのではなくて、足の痛みを参加者と分かち合うのです。車座になって自分の苦悩を話し合う。これが本当の坐禅会だと思えます。このあたりのことを他宗派の方は上手にやっています。地域をうまくまとめてみんなのお話を聞いています。そういうやり方を我々は謙虚

に学ばなければならないのです。

### 曹洞宗が一番危ない

私の参加している超宗派の会の方々が口を揃えていうのは「この先は曹洞宗が一番危ない」ということです。厳しい修行をしてい

るから安泰だと思っている人があまりにも多い。なにより曹洞宗は葬儀への依存率が高いのです。これから葬儀の簡略化、少子化、お寺離れが全て来た時に収益が一気に無くなります。あと何年かで青ざめる結果が待っています。

近年、お墓が自由に選ばれ始めたということはつまり、菩提寺と付き合う理由がなくなるということです。これからは便利なお寺、良い僧侶のいるお寺が選ばれていきます。そうすると坐禅会もしていない、説法もしてくれないお寺が多い曹洞宗は離れていく方が一番多いでしょう。

ここ三重県は、澤木興道老師の生まれた地です。老師は今の伝統教団の弱体化は僧侶が皆、金太郎飴のようになってしまったことに原因があると喝破されました。「活きの良い若者を飼いならすことができなから、従順な者たちを集めて組織をまとめてしまった」と。

教団の中で扱いやすい者だけで固まっているのはダメなのです。昔はそういう勢いのある若者が沢山いたのでしょうが、教団が巨大化し組織化していく中で保守的になってしまったのかもしれない。

会長は全日本仏教  
青年会の理事長も兼  
任されますが他宗派との  
交流から感じることは。



大衆教化について考  
える時、昔は「上の方  
から人を引っ張り上げ  
る」イメージを持ってい



全国の青年僧侶に  
メッセージを。



禅を求めている人は  
世界中にいます。もし  
て世界規模の問題を解  
決するのは曹洞宗の禅



宗門への帰属意識に  
気づかされた出来事  
(おまけエピソード)

お年玉年賀葉書の2等が当たった時に、  
送り主を見てみるとなんと曹洞宗務庁か  
らだったのです。浮かれた気持ちの私の頭  
の中に、多くの僧侶の姿が浮かびました。  
この当選品をどうするのか試されているよ  
うな気がして、ゲーム機に交換して近くの  
児童施設に寄付させていただきました。

この時は、我欲を落ち着かせてくれる信  
仰の力というものを感じました。自戒の念  
を持たせていただけた力が曹洞宗にはあり  
ます。

昨年、坐禅会の活性化のための座談会で  
参禅道場の会の方々にお会いした時に、自  
分もこういう歳の取り方をしたいと思いま  
した。自分もこの方々のように真面目に坐  
禅会を開催して歳を取っていききたい。私の  
憧れる姿がああ会にあります。憧れる人達  
に近づけるように頑張っていこうと思いま  
す。

また、一番衝撃を受けたのはグライ・ラ  
マ法王から「今の日本仏教は形骸化してい  
る。形ばかりを求めてはいけない。目の前  
にいる人に対して自分の言葉で法を説きな  
さい」と言われたことです。その時から今ま  
で模索を続けています。

沖繩での戦没者慰霊行脚の時のことです。  
日蓮宗の方が太鼓を鳴らしながら大きな声  
で「南無妙法蓮華経」と唱えながら行列をす  
るのですが、初めて参加した私はその後の  
会議のことが頭にあり、余力を残していま  
した。対して日蓮宗の方々は倒れてもいい、  
喉が潰れてもいいとの気持ちで自分の祈り  
を高めていくのです。その姿を前に私は恥  
ずかしくなりました。真剣に祈るといふこ  
とを久しく忘れていたことに気づかされま  
した。

我々が培ってきた食を尊ぶ心、助け合いの  
精神や、自己の精神への方向性を持った最  
高の教えだと思っています。私はそれを発  
信したいのです。

全国曹洞宗青年会(以下、全曹青)は素晴  
らしい人が次々入ってくる会なので皆がや  
りたいことをやれる土壌を残したい。入っ  
て10年、全曹青が楽しいからやってこれら  
れました。最高に楽しいところです。会いた  
い人に会えますし、まだまだ尊敬できる人  
がこんなにいるのだなと希望が持てますし、  
お寺を支えたいと応援してくれる人に出会  
えます。だから、ラーメンの味を追求し続  
けるかのように、私も坐り続けます。

倉島会長所信表明の  
全文は、全曹青公式  
Webサイト「般若」また  
は公式アプリ「アプリ  
ソウセイ」に掲載して  
おります。  
ぜひご覧ください。



檀家以外の参禅者が多く作務なども自主的に行われる



四天王寺では毎週日曜日の坐禅会と電話予約で  
いつでも坐れる禅体験を実施している

坐禅を通して現実を直視し、  
自分の言葉で法を説く力を！



会長就任後ブツガヤへ行き  
金剛宝座前にて報恩坐禅をする



三重県曹洞宗青年会の和太鼓集団「鼓司」  
の発足メンバーで、天童山で奉納演奏を行う



## 特集2

# 宗派を超え、生活者視点で考える 現代の僧侶

## 未来の寺院運営を考える

### 「お寺の未来フォーラム@大阪」開催

平成29年7月3日、大阪市の中之島セントラルタワーの博報堂関西支社を会場に、『お寺の未来フォーラム@大阪』が開催されました。

これは寺業計画の策定を支援する一般社団法人『お寺の未来』の主宰で行われたもので、3月に東京で行われ、全国から80人強の参加者を集めた同フォーラムの西日本開催という位置づけ。同団体代表理事の井出悦郎氏の司会進行のもと、真言宗智山派の岡澤慶澄師の挨拶で午後1時に開講しました。

まずは同団体が運営する『未来の住職塾』を受講した有志が参加する『現代の僧侶を考える会』が重ねてきた検討結果を共有するため、『僧侶像と僧侶規範の考え方』についての発表が、同塾に籍を置く全曹青の倉島隆行会長から行われました。生活者視点をふまえて、全国一万人の生活者調査を基

施して導き出されたその内容に、興味がある様子で一同が聞き入っていました。

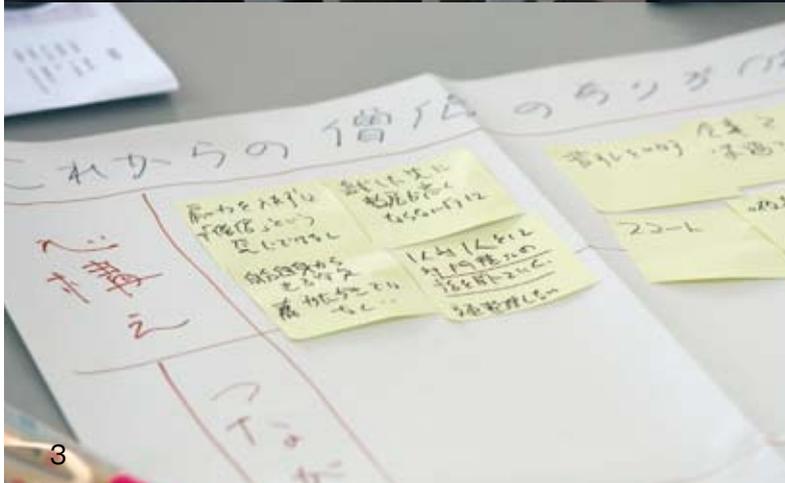
続いて浄土真宗本願寺派・網代豊和師から『生きた儀礼』について、日蓮宗・久住謙昭師からは『一人ひとりに合わせた傾聴』、浄土宗・成田淳教師から『ご縁を大切にする寺業の構想・実践』についての発表が行われました。

その後、フォーラムがテーブル毎に分かれてのワークショップ『現代の僧侶を考える』に移行すると、宗派を超えて集った約40人の僧侶と寺族が自己紹介を交わし、それぞれが持ち寄った問題意識や、今後あるべき僧侶像の集約に協同して取り組みました。

途中では博報堂生活総研による『現代の生活者動向調査(シニア層)』の発表が行われ、近未来に予測される寺と社会の関係変化について学ぶ時間もあり、参加者は緊張



写真1 会場となった博報堂関西支社がある大阪中之島。／2～4 テーブルに分かれてのワークショップでは、あるべき僧侶像についての意見交換が活発に行われた。／5 一般財団法人『お寺の未来』の代表理事を務める井出悦郎氏。／6 ワークショップの実施に先立ち、これまでの検討結果を発表する倉島隆行全曹青会長。



感を維持したまま後半のワークショップに取り組みました。

その後、参加者を混ぜ直して議論の途中経過を共有した後、それぞれのテーブル毎に話し合いの結果を発表しました。

今回のフォーラムには全曹青広報委員会からも西古孝志委員長、織田秀道副委員長の両名が参加し、他宗での様々な事例や新たな取り組みの聞き取りなども行いました。

全国から参集した参加者は皆、変わりゆく社会の中で、未来の寺院運営への手がかかりを持ち帰ろうという意識が高く、曹洞宗での修行や日常の取り組みにも多くの質問が寄せられました。

これまで一般社団法人『お寺の未来』が受け皿となって集積してきた寺院運営についての多くの情報は、今後は倉島会長が理事長を務める全日仏青に引き継がれるとの発表もあり、参加者は自分たちが導き出したあるべき僧侶像が、全国の僧侶の活動に寄与することに大きな成果を感じている様子でした。

5時間に及ぶフォーラムを通して問題意識を共有し、協同しあえる仲間がいることを確認した参加者たちが、笑顔で交流する姿はとても印象的でした。立ち去りがたい雰囲気の中で記念撮影が行われ、お寺の未来を考える本フォーラムは成功裏に閉幕されました。

文／カラスボックス

西屋真司(ライター)



# 熊本地震復興祈願 柴灯大護摩供法要



熊本地震で大きな被害を受けた益城町の復興を祈る法要が、全日仏青主催で平成29年4月3日、同町内の再春館ヒルトップ会場に厳修されました。

この法要は、震災発生後から地元の社会福祉協議会との連携を深めていた埼玉県仏教青年会が中心となり企画され、更に九州曹洞宗青年会や地元の仏教青年会が当日までの準備や当日の運営を担い、全日仏青の呼びかけに応じ全曹青や全国各地より集まった僧侶約90人によって盛大に開催されました。更に華厳宗管長であり東大寺別当の狭川普文師やキリスト教のフランコ司祭

も青年僧侶と共に祈りを捧げるなど、宗教や宗派を超え震災物故者への供養と早期復興を祈りました。

法螺貝を先導に、大導師と式衆が列を作り結果が張られた道場まで練り歩き、超宗派の有志で結成された「宗境なき坊主団」が修験行者の作法に従い厳かに儀式を進行しました。全日仏青東海林良昌理事長の挨拶の後、柴灯護摩供養が執り行われ、結界中央に設置された護摩壇に火がつくと不動明王をお招きした炎は勢いよく燃え上がり、その中に祈願された護摩木が投げ入れられました。

火渡り修行では、仮設住宅に住む方や地元住民の方々およそ200人が列を作り震災復興への祈願成就や無病息災を願い、白装束の行者による説明を受けながら一人一人、火渡りを体験していました。

火渡りの行中には各宗派の祈りとしてキリスト教の讃美歌や浄土宗の念仏、曹洞宗による大般若経転読、日蓮宗の木剣作法が執り行われました。

当日は快晴に恵まれ、振る舞いのブースや傾聴の行茶サロンも多くの人で賑わうなど、震災から1年を迎える益城町の方々にとって新しい季節が花開ききっかけになっ

たのではないかと感じました。

今回の行事で地元熊本県曹洞宗青年会として尽力された岩崎哲秀師（全曹青第20期副会長）は「地元の我々だけでは企画するのが困難な一周忌の行事も、全国から集まってくれた僧侶のお力添えで無事に開催することができ、心から感謝したい」と述べられました。

全曹青としても、今後も被災地の声にしっかりと耳を傾け、青年僧侶が出来る慰霊・復興行事に取り組んでいきたいと考えております。

# 熊本地震復興祈願法要 物故者供養法会

平成29年4月12日、曹洞宗熊本県第一宗務所が主催する熊本地震復興祈願法要・物故者供養法会が、熊本県御船町の東禅寺様で同寺副住職・藤岡弘龍導師のもとで行われました。

法要には県内寺院のみならず、県外からも多くの方が随喜し、全曹青第21期安達会長、酒井副会長の両名も駆けつけました。参集した僧侶51人は未だ傷跡が癒えない被災地の復興と、震災によって各地で亡くなられた方々の供養に勤めました。



復興祈願法要では藤岡弘龍師が熊本地震の被害規模を読み上げ、その1日でも早い復興への願いを込められました。

法要終了後には全国より集まった支援物資の一部を食材にして、被災した方の支援物資にお送り下さった方々の気持ちに感謝の気持ちを込め、参集した全員でいただきました。

天災被害という有事に際して、全国各地から何か協力と行動してくれた方々の気持ちだが、被災地では大きな力となりました。

私も震災直後から熊本へ何度も炊き出しボランティアに参加させていただきましたが、恥ずかしながらこの日が、半年ぶりの熊本訪問となりました。

東禅寺様までの道中、炊き出しに参加して御船町を訪れていた頃の景色を思い出し、テント村だった所が無くなって仮設住宅が並ぶなど、町の景色は変化していました。復旧が迅速に進んでいる場所もある中、当時と全く変わっていないと思える光景も多くあり、被害の大きさと復興の難しさを垣間見たような思いを抱きました。

震災復興にはまだまだ時間がかかり、人々に本当の笑顔が戻るのもっと先になるのかもしれない。その事実を風化させることなく、被災した地域の日でも早い復興と、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

文／前広報委員 横山岳洋

# レポート 全曹青

平成29年5月17日午後1時から、曹洞宗檀信徒会館3階「桜の間」で中央研修会を開催しました。講師に曹洞宗国際センター所長の藤田一照老師をお迎えし「現代に坐禅を普勧する〜三調としての坐禅〜」と題した講演をいただきました。

坐禅とは何か。言語化すると失われるものを伝えるためには「三調（調身・調息・調心）で伝えるのが良いと考えている」「道元禪師は調心という言葉は実は使っていない。調身・調息に心を致すというのが調心という言葉の本当の意味です」という藤田老師の言葉はわかりやすく、未経験の方が坐禅を試してみたいくなる響きに満ちていると

感じました。海外の有名企業で社員研修に組み込まれることの多いマインドfulnessの流行については、「これを入り口として坐禅に進んで行く人が増えることが期待できるので応援している」と歓迎の意を表しながらも、会場を埋めた青年僧侶たちには「指導がなければ正しい坐禅にはならない。通俗的観念から、正しい坐禅観へ導く坐禅会を」と、また「坐禅という行為の意義を自分の言葉で表現できるように」と呼びかけておられました。

## 現代に坐禅を普勧する

〜三調としての坐禅〜 中央研修会



### 講師プロフィール



藤田一照（ふじた いっしょう）  
1954年、愛媛県生まれ  
灘高校から東京大学教育学部教育心理学科を経て、大学院で発達心理学を専攻。院生時代に坐禅に出会い深く傾倒。28歳で博士課程を中退し禅道場に入山、29歳で得度。33歳で渡米。以来17年半にわたってマサチューセッツ州ヴァレー禅堂で坐禅を指導する。2005年に帰国し現在も、坐禅の研究・指導にあたっている。2010年より曹洞宗国際センター所長。スターバックス、フェイスブック、セールスフォースなど、アメリカの大手企業でも坐禅を指導する。2017年5月より、オンライン禅コミュニティ「大空山磨博寺（たいくうざんまっせんじ）」開創。曹洞宗国際センター2代所長。著作に『現代坐禅講義―只管打坐への道』、共著に『アップデートする仏教』『安泰寺禅僧対談』『禅の教室』、訳書に『禅への鍵』、『法華経の省察』『禅マインド ビギナーズ・マインド2』など

藤田一照オフィシャルウェブサイトより

## 『禅を世界へ、そして未来へ』



### 第22期正式スタート!

定期評議員会・定期総会

続いて午後3時30分からは定期評議員会を開催しました。加盟曹青会の代表が全国から評議員として集い、第21期の活動報告、会計報告、第22期の活動計画案、予算案、第22期執行部について審議が行われ、全て承認されました。

翌18日午前9時からは定期総会を開催しました。前日の定期評議員会で承認を受けた議案が審議され、全て承認されました。これをもって正式に倉島隆行第22期会長を中心とした新執行部がスタートしました。会長の所信表明では第22期のスローガンを『禅を世界へ、そして未来へ』とすること、また全日仏青の新理事長にも就任することが発表されました。

文／広報副委員長 織田秀道



## 第22期 委員会総会

平成29年6月16日、曹洞宗檀信徒会館3階「蘭の間」において、第22期委員会総会が行われました。

倉島会長の挨拶があり、その中で今期の活動を始めるにあたって各委員会に目標の発表がありました。次に各副会長の挨拶が行われ、その後会長より委嘱状の授与が行われました。

そして、各委員会並びに各特別委員会による今期の活動目標が発表され、様々な意見交換が行われました。

総会終了後、全日仏青の活動についての研修会が行われ、内藤宏信全日仏青特別委員長、事務局局長よりこれまでの活動の説明、来年30周年を迎える千僧法要、世界仏教徒青年連盟(WIBY)の活動内容が説明されました。そして平成30年大本山總持寺で行われる世界大会については全日仏青理事長に就任する倉島会長より世界大会のメインテーマ「Compassion in Action (慈悲の行動)」の発表と大会の説明が行われました。

今期『禅を世界へ、そして未来へ』のスローガンのもと、全曹青が世界に対して大きな役割を果たすべく、委員一人一人が目標に向かって新たなスタートを切りました。

文／広報委員 大菅哲哉

平成29年6月26日、倉島会長以下、副会長、顧問、事務局局長、委員長の総勢10人で大本山總持寺に拝登しました。これまでの全曹青活動への御礼と来年開催される世界仏教徒連盟・世界仏教徒青年連盟世界大会では会場として使用させていただく旨、ご協力をお願いいたしました。江川辰三禪師様、乙川暎元監院老師より、今期スローガンのように、幅広く「禅」を活かす為に大いに本山を利用して下さいとの有り難いお言葉を頂戴いたしました。

翌日6月27日には、総勢9人で大本山永平寺に拝登しました。小林昌道監院老師より、現在の永平寺の取り組みを紹介いただきました。人材育成により一層の力を入れているとのこと、我々青年僧侶に期待して下さるとの有り難いお言葉を頂戴いたしました。

文／広報委員長 西古孝志



## 両大本山拝登レポート





## 東大寺仏法興隆花まつり 千僧法要レポート

平成29年4月26日、本年も奈良県東大寺で「仏法興隆花まつり千僧法要」が厳修されました。毎年好天に恵まれる法要ですが、今年は生憎の雨模様で、少々肌寒い中でありましたが、各宗派の僧侶約500人、また150人の一般参拝の皆様と共に勤め

しました。午後からはさらに雨脚が強くなりましたが、行列を組み大仏殿に向かいました。大仏殿登壇の後、全日仏青の東海林良昌理事長が全ての法要を通しての導師として毘盧遮那仏の御宝前に座られ、開式の辞、惣

礼、金峯山青年僧の会による「法螺吹奏」、天台仏教青年連盟による「声明・散華」の後、東海林理事長より表白が読み上げられ、各宗派による法要が厳修されました。全真言宗青年連盟による「声明」、融通念

した。大仏殿内後方では、全日仏青40周年記念として、奉納書道展が開催されておりました。来年は東大寺仏法興隆花まつり千僧法要30周年となります。多くの皆様と共に世界平和の祈りを捧げたいと思います。

文／広報委員長 西古孝志



仏宗青年会による「声明・念仏」の後、全曹青は「般若心経・大般若経転読・普門品偈」をお勤めいたしました。今年には、『大般若波羅蜜多経』六百巻を参加僧侶に1冊ずつ配布し転読を行いました。この『大般若経』は、大分県の故・和泉徹氏が空襲で命を落とされた弟君の供養のために30年かけて単独で写経し奉納されたものです。500人もの僧侶が一斉に転読をする姿は、大変神々しく感じました。また本会副会長3人は『大般若経理趣分』を大仏殿にお参りされている方々に向け転読をして回りました。参拝の方々も足を止め、合掌をしておられました。その後、全国日蓮宗青年会による「木剣」、全国浄土宗青年会による「念仏」の後、回向と四弘誓願をお唱えし終了しました。引き続き、アシヨカピラー宝塔に移動し、南都二六会会長を導師に、法要が勤修されました。法要後は会場を移動し、新制全日仏青発会40周年記念式典が開催されま

平成29年6月26日、大本山總持寺を会場に全日仏青定期理事会が開催され、第21代理事長に倉島隆行全曹青会長が正式に就任しました。2019年5月末までの2年の任期の間、仏様の御教えのもと、宗派と地域を超えた青年僧の活動を展開して参ります。



### 定期理事会開催

# 全日本仏教青年会とは？



全日本仏教青年会 (All Japan Young Buddhist Association / JYBA) は、1977年に設立された日本全国の宗派・地域の垣根を超えて活動する仏教青年団体です。また、世界仏教徒青年連盟 (World Fellowship of Buddhist Youth / WFBY) 唯一の日本センターでもあります。和を重んずる仏教精神のもと、仏教青年相互

の密接なる連絡・連携・友好をはかり、真に時代に即応する活動を展開するとともに、全世界の仏教徒と交流を深めつつ、仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与することを目標に活動しています。

## 全日本仏教青年会の活動について

全日本仏教青年会は、教化研修委員会、国際委員会、救援委員会、諸宗教対話委員会、広報委員会などの委員会を組織し、様々な活動に取り組んでいます。

仏法興隆花まつり千僧法要



国際交流



災害支援



全日本仏教青年会公式HP

<http://www.jyba.ne.jp/>

# 世界仏教徒青年連盟とは？



世界仏教徒青年連盟 (The World Fellowship of Buddhist Youth / WFBY) とは、未来を担う青年たちの仏教に対する理解を広め、深める事を目的に結成された国際ネットワークです。

1950年、スリランカの提言によって、日本も中心となり設立された世界仏教徒連盟 (The World Fellowship of Buddhist / WFB) の第10回世界仏教徒会議において、1972年5月に発足しました。現在では16ヶ国、42の国を代表する仏教団体が会員として加盟する世界最大の国際仏教青年会に成長しています。

世界仏教徒青年連盟は、交流プログラムやリーダー育成研修などの活動を通じ、世界中の青年仏教徒の交流を促進すると共に、仏教に基づいた人材の育成に取り組んでいます。また、青年を対象とした活動だけではなく、青年を指導する人々のためのプログラムも実施しています。

日本では、全日本仏教青年会が All Japan Young Buddhist Association (JYBA) として世界仏教徒青年連盟に加盟し、日本国内唯一のセンター (Regional Center) として各国の青年仏教徒との交流を深めつつ、世界平和への貢献と仏教の宣揚を目的に活動しています。

# 会 計 報 告

## 平成29年度 全国曹洞宗青年会 一般会計歳入歳出予算

平成29年4月1日～平成30年3月31日

歳入総額	30,970,000 円
歳出総額	30,970,000 円
差引残額	0 円

## 平成28年度 全国曹洞宗青年会 ボランティア基金 報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

歳入総額	20,497,216 円
歳出総額	12,905,385 円
差引残額	7,591,831 円

1.前年度繰越金	535,761	1,005,726	469,965	
	27,509,239	27,308,274	△ 200,965	
	7,000,000	6,500,000	△ 500,000	
1.同上	7,000,000	6,500,000	△ 500,000	
	15,000,000	15,300,000	300,000	
1.事業助成金	14,500,000	15,000,000	500,000	曹洞宗事務より
2.給算金	500,000	300,000	△ 200,000	広報誌広告協賛金
	5,500,000	5,500,000	0	
1.同上	5,500,000	5,500,000	0	頒布事業等
	0	0	0	
1.委員会運営費助成金	0	0	0	
	9,239	8,274	△ 965	
1.同上	9,239	8,274	△ 965	預金利息等
	30,710,000	30,970,000	260,000	

△印は減 (単位:円)

目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
	8,960,000	9,430,000	470,000	
	850,000	850,000	0	
1.役員会	350,000	350,000	0	年5回 執行部会・理事会
2.総会	500,000	500,000	0	年2回 評議員会・総会
	7,150,000	7,650,000	500,000	
1.役員会	3,850,000	3,800,000	△ 50,000	年5回 執行部会・理事会
2.評議員	2,000,000	2,000,000	0	年2回 定期・臨時評議員会
3.渉外交通費	1,300,000	1,850,000	550,000	4管区大会・協議会・全日仏費等
	250,000	250,000	0	
1.負担金	250,000	250,000	0	全日仏費加担負担金
	580,000	550,000	△ 30,000	
1.通信費	250,000	250,000	0	郵送料・振込手数料等
2.慶弔費	250,000	200,000	△ 50,000	祝賀等
3.消耗品費	50,000	70,000	20,000	
4.雑品費	30,000	30,000	0	
	30,000	30,000	0	
1.同上	30,000	30,000	0	
	100,000	100,000	0	
1.同上	100,000	100,000	0	
	21,750,000	21,540,000	△ 210,000	
	6,350,000	5,600,000	△ 850,000	
総合企画委員会	1,350,000	1,500,000	150,000	企画運営・頒布事業等
広報委員会	2,150,000	2,500,000	350,000	広報活動等
教化法工委員会	1,100,000	1,500,000	400,000	教化事業・精進料理教室等
心の聴察委員会	700,000		△ 700,000	
国際委員会	1,050,000		△ 1,050,000	
	5,800,000	6,500,000	700,000	
1.本部事業費	4,600,000	5,300,000	700,000	頒布事業、ストックヤード等
2.研修会開催費	200,000	200,000	0	中央研修会等
3.神文化学林開催費	1,000,000	1,000,000	0	
	8,800,000	8,800,000	0	
1.編集費	2,400,000	2,400,000	0	広報誌編集費
2.印刷費	2,200,000	2,200,000	0	広報誌印刷
3.発送費	3,800,000	3,800,000	0	広報誌郵送料
4.封筒制作費	400,000	400,000	0	専用封筒・装部作成費
	500,000	400,000	△ 100,000	
1.管区大会助成金	500,000	400,000	△ 100,000	4力所開催
	170,000	210,000	40,000	
1.周年事業基金	100,000	100,000	0	
2.次期執行部準備金	60,000	100,000	40,000	
3.その他	10,000	10,000	0	
	30,000	30,000	0	
1.同上	30,000	30,000	0	
	100,000	100,000	0	
1.同上	100,000	100,000	0	
	30,710,000	30,970,000	260,000	

ボランティア基金 7,591,831円  
周年事業基金 1,700,000円  
次期執行部準備金 586,392円

全国曹洞宗青年会 会長 倉島隆行  
会計 河村達磨

つるみ夢ひろば募金	24,230	
つるみ夢ひろばバザー	187,427	バザー収益金
合計	20,497,216	

歳出の部>		(単位:円)	
項 目	金 額	見 舞 金	備 考
見舞金・支援金等	5,812,102	見舞金 支援金等	
復興支援活動費	1,154,022	前期復興支援活動費 (交通費など)	
復興支援活動費	1,961,753	後期復興支援活動費 (交通費など)	
東日本大震災七回忌 慰霊復興のつどい経費	3,781,555	広報 法要 花火 屋台ブース その他	
3.11慰霊法要経費	195,952	香費 献花 献香 供物 行茶活動経費	
合計	12,905,385		

見舞金・支援金歳出内訳		(単位:円)	
分室熊本関連郵送料	45,398	福島 災害復興支援室熊本関連郵送料他	
熊本支援	1,048,414		
ストックヤード補充	1,138,104	缶詰、アルファ米、水	
子ども自然ふれあい広場助成金	600,000	四国地区曹洞宗青年会、秋田県曹洞宗青年会へ	
災害見舞金	100,000	宮城、鹿児島、熊本、大分各曹青、ネパール	
見舞金	10,000	若手曹青への見舞金	
支援活動助成金	500,619	各曹青への支援活動助成金 50,000円×10曹青年会 送金手数料	
各団体への協賛金	90,000	ベトナムマの会 チャイルドライン福島 シャンティ国際ボランティア35周年事業協賛金	
つるみ夢ひろば	235,139		
ボランティア基金協賛振替伝票	144,000		
七回忌事業助成金	1,000,000	宮城曹青 曹青青縁の七回忌事業助成金 500,000×2青年会	
七回忌関連	500,432	ローソク チラシ 送金手数料	
七回忌事業 東北味来食堂	400,000	七回忌事業 東北味来食堂経費	
合 計	5,812,102		

東日本大震災七回忌慰霊復興のつどい経費内訳		(単位:円)	
交通費	¥1,649,000	執行部 委員会交通費	
風船企画費	¥250,432	バルーンアート費用 送金手数料	
花火諸経費	¥700,432	花火費用 送金手数料	
法要費	¥135,532	山形曹青への萬燈供養御礼 経木塔婆費用	
屋台ブース	¥302,422	甘茶 蛸焼 テント設置 豚汁 ガス 等	
会場費	¥100,000	円通寺様へ	
広報費	¥260,446	チラシ フェイスブック広告等	
備品費	¥289,605	郵費用 着ぐるみ費用 タオル 事務用品等	
予備費	¥93,687	協賛金額い振替伝票 郵送料 消防団御礼の品等	
合 計	¥3,781,555		

製造元 寺院仏具・文化財修復・施工全般



有限会社 阿部正助商店

秋田の職人による製作  
自社工場での一貫生産です  
工場見学には是非ご来店ください

本社 秋田県湯沢市駒形町字八面袖沢56-6  
TEL (0183) 42-2251 FAX (0183) 42-3795

# 平成28年度

## 平成28年度 全国曹洞宗青年会 周年事業基金 報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

歳入総額 1,700,000 円  
 歳出総額 0 円  
 差引残額 1,700,000 円

計	1,700,000	
(単位:円)		
目	金額	備考
計	0	
計	0	

3年度 全国曹洞宗青年会 次期執行部準備基金 報告  
 平成28年4月1日～平成29年3月31日

## 平成28年度 全国曹洞宗青年会 次期執行部準備基金 報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

歳入総額 586,392 円  
 歳出総額 0 円  
 差引残額 586,392 円

計	586,392	
(単位:円)		
目	金額	備考
計	0	
計	0	

告知します。  
 平成29年4月13日  
 全国曹洞宗青年会 会長 安達 瑞樹 印  
 会計 伊藤 承章 印

## 平成28年度 全国曹洞宗青年会 一般会計歳入歳出決算 報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

歳入総額 31,094,562 円  
 歳出総額 30,088,836 円  
 差引残額 1,005,726 円

2.繰越金		535,761	535,761	0	
1.前年度繰越金		535,761	535,761	0	
		27,509,239	27,902,801	393,562	
1.賛助費		7,000,000	6,438,500	△ 561,500	
1.同上		7,000,000	6,438,500	△ 561,500	
2.助成金		15,000,000	14,975,000	△ 25,000	
1.事業助成金		14,500,000	14,500,000	0	曹洞宗精進より
2.協賛金		500,000	475,000	△ 25,000	広報誌広告協賛金
3.事業収入		5,500,000	5,389,920	△ 110,080	
1.同上		5,500,000	5,389,920	△ 110,080	頒布事業
4.繰戻金		0	407,341	407,341	
1.委員会運営費繰戻金			407,341	407,341	
5.雑収入		9,239	692,040	682,801	
1.同上		9,239	692,040	682,801	預金利息、祝賀等
合計		30,710,000	31,094,562	384,562	

1.会議費		850,000	587,408	△ 262,592	
1.役員会		350,000	215,508	△ 134,492	執行部会、理事会
2.総会		500,000	371,900	△ 128,100	評議員会、総会
2.執行交通費		7,150,000	6,815,000	△ 335,000	
1.役員会		3,850,000	3,111,000	△ 739,000	執行部会、理事会
2.評議員		2,000,000	2,067,000	67,000	年2回、定期、臨時評議員会
3.渉外交通費		1,300,000	1,637,000	337,000	管区大会、全日仏青出向等
3.全日仏青関連費		250,000	250,000	0	
1.負担金		250,000	250,000	0	全日仏青加盟負担金
4.事務費		580,000	443,500	△ 136,500	
1.通信費		250,000	246,840	△ 3,160	郵送料、振込手数料等
2.慶弔費		250,000	165,000	△ 85,000	祝賀、喪儀、添葉等
3.消耗品費		50,000	8,534	△ 41,466	名刺、郵便封筒作成等
4.備品費		30,000	23,126	△ 6,874	
5.雑費		30,000	64,422	34,422	
1.同上		30,000	64,422	34,422	
6.予備費		100,000	0	△ 100,000	
1.同上		100,000	0	△ 100,000	
		21,750,000	21,928,506	178,506	
1.委員会運営費		6,350,000	6,350,000	0	
1.総合企画委員会		1,350,000	1,350,000	0	
2.広報委員会		2,150,000	2,150,000	0	
3.教化法式委員会		1,100,000	1,100,000	0	
4.心の情報委員会		700,000	700,000	0	
5.国際委員会		1,050,000	1,050,000	0	
2.事業費		5,800,000	6,276,991	476,991	
1.本部事業費		4,600,000	5,078,008	478,008	花まつり、頒布事業、特別委員会
2.研修会開催費		200,000	198,983	△ 1,017	中央研修会等
3.禅文化学林開催費		1,000,000	1,000,000	0	兵庫県第二宗廟所青年会
3.広報費		8,800,000	8,493,115	△ 306,885	
1.編集費		2,400,000	2,218,600	△ 181,400	広報誌編集費
2.印刷費		2,200,000	2,151,360	△ 48,640	広報誌印刷
3.発送費		3,800,000	3,734,355	△ 65,645	広報誌郵送料
4.封筒制作費		400,000	388,800	△ 11,200	専用封筒、挨拶文作成費
4.助成金		500,000	500,000	0	
1.管区大会助成金		500,000	500,000	0	北海道・東海・九州・東北・中国
5.積立金		170,000	300,000	130,000	
1.周年事業基金		100,000	100,000	0	
2.次期執行部準備金		60,000	200,000	140,000	
3.その他		10,000	0	△ 10,000	
6.雑費		30,000	8,400	△ 21,600	
1.同上		30,000	8,400	△ 21,600	
7.予備費		100,000	0	△ 100,000	
1.同上		100,000	0	△ 100,000	
計		30,710,000	30,088,836	△ 621,164	

【基金】 ボランティア基金 7,591,831円  
 周年事業基金 1,700,000円  
 次期執行部準備金 586,392円  
 全国曹洞宗青年会 会長 安達瑞樹 印  
 会計 伊藤承章 印

総合御寺院用仏具専門店  
 株式会社 七福商事  
 ☎ 0943-32-5103

西日本 丸太屋佛具店 ☎ 0943-32-4036  
 東日本 福祿堂佛具店 ☎ 0120-77-2969

ホームページ <http://www.sichifuku.jp>  
 本社・工場・展示場 〒834-0111 福岡県八女郡広川町日吉 1407  
 関東営業所 〒347-0063 埼玉県加須市久下4丁目 1-2



全国曹洞宗青年会の活動は皆さまの賛助費に支えられております。

この度もご協力いただき誠に有難うございました。

- |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 738 不動寺 様 | 263 西林寺 様 | 103 光昌寺 様 | 561 勝源寺 様 | ◆北海道第1    |
| ◆福島県      | 319 大永寺 様 | 158 見性寺 様 | 659 持地院 様 | 14 廣福寺 様  |
| 46 龍傳寺 様  | 420 玖光院 様 | ◆山形県第1    | 722 永蓮寺 様 | 29 法幢寺 様  |
| 101 成林寺 様 | ◆岩手県      | 90 無量寺 様  | ◆秋田県      | 79 徳源寺 様  |
| 110 龍徳寺 様 | 23 清雲寺 様  | 138 石川寺 様 | 17 補陀寺 様  | ◆北海道第2    |
| 195 東門寺 様 | 25 宝積寺 様  | 194 龍護寺 様 | 27 永源寺 様  | 248 總泉寺 様 |
| 230 大安寺 様 | 55 長壽寺 様  | 214 長泉寺 様 | 96 円通寺 様  | 347 大乘寺 様 |
| 266 洞雲寺 様 | 111 西泉寺 様 | 238 西来院 様 | 179 長泉寺 様 | 418 萬台寺 様 |
| 377 宝積寺 様 | 158 願成寺 様 | 241 福昌寺 様 | 184 護昌寺 様 | ◆北海道第3    |
| 405 勝方寺 様 | 186 大光寺 様 | ◆山形県第2    | 206 松雲寺 様 | 203 西来院 様 |
| 461 正法寺 様 | 269 龍泉寺 様 | 366 常信庵 様 | 220 雲巖寺 様 |           |
| ◆宮城県      | 290 長泉寺 様 | ◆山形県第3    | 237 龍泉寺 様 |           |
| 9 瑞雲寺 様   | ◆青森県      | 468 宗傳寺 様 | 265 倫勝寺 様 |           |
| 10 瀧澤寺 様  | 27 蘭庭院 様  | 534 東福寺 様 | 321 鏡得寺 様 |           |
| 102 吉祥寺 様 | 100 澄月寺 様 |           | 323 恩徳寺 様 |           |
|           |           |           | 341 金浦寺 様 |           |

## ボ ラ ン テ イ ア 基 金 感 謝 録

- |            |            |                             |           |
|------------|------------|-----------------------------|-----------|
| 東京都 俊朝寺 様  | 静岡県 正泉寺 様  | 広島県 中興寺 様                   | 宮城県 大永寺 様 |
| 東京都 薬師寺 様  | 静岡県 宝持寺 様  | 広島県 萬福寺 様                   | 宮城県 瀧澤寺 様 |
| 東京都 清巖寺 様  | 静岡県 蓮覚寺 様  | 広島県 福善寺 様                   | 岩手県 願成寺 様 |
| 東京都 正法院 様  | 静岡県 福王寺 様  | 島根県 完全寺 様                   | 岩手県 竜泉寺 様 |
| 神奈川県 泉秋寺 様 | 愛知県 報恩寺 様  | 島根県 円光寺 様                   | 岩手県 宝積寺 様 |
| 神奈川県 宗久寺 様 | 愛知県 宝泉寺 様  | 愛媛県 秀禅寺 様                   | 岩手県 長泉寺 様 |
| 神奈川県 正翁寺 様 | 愛知県 妙測寺 様  | 大分県 羅漢寺 様                   | 青森県 大安寺 様 |
| 埼玉県 蓮光寺 様  | 愛知県 全久院 様  | 熊本県 含藏寺護持会 様                | 青森県 澄月寺 様 |
| 埼玉県 永福寺 様  | 岐阜県 洞泉寺 様  | 熊本県 明德寺 様                   | 山形県 永蓮寺 様 |
| 埼玉県 廣徳院 様  | 三重県 四天王寺 様 | 長野県 興善寺 様                   | 山形県 石川寺 様 |
| 群馬県 雲林寺 様  | 三重県 宜勝院 様  | 長野県 常円寺 様                   | 山形県 無量寺 様 |
| 栃木県 成高寺 様  | 三重県 安心寺 様  | 福井県 長泉寺 様                   | 山形県 宗傳寺 様 |
| 茨城県 龍泉院 様  | 三重県 桃源寺 様  | 富山県 法眼寺 様                   | 山形県 勝源寺 様 |
| 茨城県 龍心寺 様  | 三重県 智應院 様  | 新潟県 法音寺 様                   | 秋田県 補陀寺 様 |
| 千葉県 真光寺 様  | 奈良県 景德寺 様  | 新潟県 宝泉寺 様                   | 秋田県 恩徳寺 様 |
| 千葉県 慶林寺 様  | 兵庫県 長福寺 様  | 新潟県 曹源寺 様                   | 秋田県 雲巖寺 様 |
| 千葉県 宗胤寺 様  | 兵庫県 向榮寺 様  | 新潟県 不動寺 様                   | 秋田県 永源寺 様 |
| 山梨県 自元寺 様  | 兵庫県 瑠璃寺 様  | 福島県 曹洞宗福島県青年会<br>カレンダー委員会 様 | 北海道 総泉寺 様 |
| 静岡県 弧雲寺 様  | 兵庫県 谷松寺 様  | 宮城県 正法寺 様                   | 北海道 廣福寺 様 |
| 静岡県 楞嚴院 様  | 岡山県 濟渡寺 様  | 宮城県 玖光院 様                   |           |
| 静岡県 千光寺 様  | 広島県 国泰寺 様  |                             |           |

## 東 日 本 大 震 災 七 回 忌

- |            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| 神奈川県 泉秋寺 様 | 福島県 東門寺 様 | 山形県 金勝寺 様 |
| 秋田県 護昌寺 様  | 青森県 光昌寺 様 |           |

# 賛助費浄納御芳名簿

平成29年4月1日～6月13日取扱い分

## ◆東京都

3 俊朝寺 様  
81 長光寺 様  
177 清巖寺 様  
232 薬師寺 様  
235 金光寺 様  
267 永昌院 様  
345 正法院 様  
駒澤大学高等学校 様

## ◆神奈川県第1

285 泉秋寺 様

## ◆神奈川県第2

27 東林寺 様  
83 正翁寺 様

## ◆埼玉県第1

19 宝積寺 様  
190 廣徳院 様  
392 報恩寺 様

## ◆埼玉県第2

207 蓮光寺 様  
227 東陽寺 様  
254 見光寺 様  
315 休山寺 様  
336 永福寺 様  
368 東昌寺 様

## ◆群馬県

67 長泉寺 様  
89 龍昌寺 様  
111 雲林寺 様  
131 雲昌寺 様  
194 善宗寺 様

## ◆栃木県

1 成高寺 様  
103 光真寺 様  
161 東陽院 様

## ◆茨城県

13 龍泉院 様  
39 常安寺 様  
46 長松院 様  
166 東光寺 様  
182 龍心寺 様  
197 長龍寺 様

## ◆千葉県

2 宗胤寺 様  
29 慶林寺 様

74 廣濟寺 様  
119 森巖寺 様  
185 勢國寺 様  
212 真光寺 様

## ◆山梨県

272 棲月院 様  
493 藏前院 様  
543 龍澤寺 様  
555 自元寺 様

## ◆静岡県第1

127 楞嚴院 様  
152 宝持院 様  
180 秀源寺 様  
464 正泉寺 様  
501 養徳寺 様  
528 盤石寺 様

## ◆静岡県第2

267 修禅寺 様  
321 円応寺 様  
362 福泉寺 様

## ◆静岡県第3

608 養勝寺 様  
634 光明院 様  
676 弧雲寺 様  
920 蓮覚寺 様  
988 福王寺 様  
1210 雲江院 様

## ◆静岡県第4

1017 龍泉寺 様  
1122 林泉寺 様

## ◆愛知県第1

18 大運寺 様  
108 香積院 様  
173 神藏寺 様  
207 萬溪寺 様  
229 寶泉寺 様  
261 薬師寺 様  
293 康勝寺 様  
313 長松寺 様  
375 春江院 様  
606 向陽寺 様  
607 林宗寺 様  
612 廣圓寺 様  
625 宝積寺 様  
635 永澤寺 様  
1092 地藏寺 様  
1119 松月寺 様

## ◆愛知県第2

684 花井寺 様  
813 全久院 様

## ◆愛知県第3

431 報恩寺 様

## ◆岐阜県

36 薬王寺 様  
122 大龍寺 様  
162 清楽寺 様  
188 洞泉寺 様  
190 長久寺 様  
218 本覚寺 様  
219 勝林寺 様  
237 瑞巖寺 様

## ◆三重県第1

37 四天王寺 様  
83 涼泉寺 様  
114 海禅寺 様  
133 宜勝院 様  
166 陽光寺 様  
240 安心寺 様  
287 桃源寺 様  
446 智應院 様

## ◆三重県第2

391 永明寺 様  
408 東正寺 様

## ◆滋賀県

178 洞源寺 様

## ◆京都府

46 榮春寺 様  
367 福昌寺 様  
389 萬福寺 様

## ◆大阪府

26 天徳寺 様  
78 桂林寺 様  
98 吉祥院 様  
100 南詢寺 様

## ◆奈良県

68 景德寺 様

## ◆兵庫県第1

287 向榮寺 様  
370 明善寺 様

## ◆兵庫県第2

121 徳寿寺 様  
134 谷松寺 様  
160 瑠璃寺 様  
217 長福寺 様

## ◆岡山県

4 威徳寺 様  
131 済渡寺 様

## ◆広島県

1 国泰寺 様  
23 阿弥陀寺 様  
46 双照院 様  
95 泉龍寺 様  
100 中興寺 様  
118 長善寺 様  
143 常林寺 様  
149 萬福寺 様  
177 功德寺 様  
181 東明寺 様

## ◆山口県

111 溪月院 様

## ◆鳥取県

54 東昌寺 様  
133 妙元寺 様

## ◆島根県第2

5 地福寺 様  
17 円光寺 様  
45 禪覺寺 様  
63 龍覚寺 様  
70 完全寺 様  
119 常光寺 様  
198 日光寺 様

## ◆愛媛県

18 陽春院 様  
99 保安寺 様  
135 秀禅寺 様  
146 興雲寺 様  
159 宝珠寺 様

## ◆福岡県

158 報恩寺 様

## ◆大分県

8 豊音寺 様  
175 羅漢寺 様

## ◆長崎県第1

78 宝泉寺 様

## ◆佐賀県

132 大福寺 様

## ◆熊本県第1

60 含蔵寺護持会 様

## ◆熊本県第2

88 明德寺 様

## ◆宮崎県

54 善栖寺 様

## ◆鹿児島県

14 絃昭寺 様

## ◆長野県第1

123 真蔵寺 様  
227 岩松院 様  
330 興善寺 様

## ◆長野県第2

473 常円寺 様

## ◆福井県

27 龍澤寺 様  
232 長泉寺 様

## ◆石川県

17 長久寺 様

## ◆富山県

8 瑞圓寺 様  
54 大淵寺 様  
150 法眼寺 様

## ◆新潟県第1

350 定光寺 様  
354 法音寺 様  
393 曹源寺 様  
487 宝泉寺 様  
496 長楽寺 様  
502 東光寺 様

## ◆新潟県第2

710 晃照寺 様

## ◆新潟県第4

38 興泉寺 様  
69 永明寺 様  
238 光浄寺 様



## 今を生きる支援を 未来へ繋ぐ



東日本大震災より6年以上が経過した今、被災された方の生活はどのような現状にあるのか。先日の行茶活動では談笑しながら、ある方が「遠くから来てくださって本当にありがとうございます」と私の手を取り、静かに涙を流されました。各地で自然災害が発生するたび、様々な課題や問題に直面し、また、時間の経過に伴い求められるものも変化していきます。それに対して、明確な答えというものはないかもしれませんが、その方の言葉に、僧侶である私達が継続して支援活動に赴く意義は必ずある、と改めて強く感じました。

その思いを念頭に、今期は、傾聴活動をはじめ、起こり得る災害に対処すべく、寺院ストックヤードの普及、研修会による防災・減災に関する人材の育成、関係諸団体との連携に努めてまいります。今後も、全国のご寺院様、会員様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

文／災害復興支援部事務局長

武藤大海

九州曹洞宗青年会福岡大会記念写真



## 第47回九州曹洞宗青年会総会 福岡大会を開催

平成29年6月15日、福岡県福岡市のインペリアルパレスシティホテル福岡で、『第47回九州曹洞宗青年会総会 福岡大会』を開催しました。

午後1時より受付開始、午後1時30分より開講諷経・熊本地震被災物故者供養が営まれました。

午後2時からは定期総会が行われました。この席で九州曹洞宗青年会執行部の役員改選議案が上程され、第17期須川憲司会長から第18期角田仁哉会長へとバトンが手渡されました。角田師は、「九州はひとつ」寄り



記念講演講師  
九州大学准教授・比良松道一氏

添いあう世の中に』をスローガンに掲げ、活動してまいりたいと思います」と就任にあたっての抱負を述べられました。全曹青年会の倉島隆行師からも挨拶をいただきました。

午後3時30分からは大会記念講演が開催されました。今大会の記念講演には、九州大学准教授の比良松道一氏を迎え、『命と心を育む自炊力』九大「自炊塾」からのメッセージ」と題した講演を行っていただきました。

午後6時30分からは懇親会を開催しました。懇親会では須川師が募金箱を手に各テーブルをまわり、『九州曹洞宗青年会ボランティア義援金』の寄付を募りました。その結果、総額78,538円の寄付をいただきました。

今大会は、会員・来賓合わせて99人の参加となりました。次期開催事務所は大分県となり、次期大会においても大会が円満に成される事をお祈りいたします。

文／大会実行委員 田ノ口太悟

北海道管区理事 野村宣英

この度、北海道管区理事を務めさせていただきます、北海道第三宗務所青年会の野村宣英です。第22期倉島会長のもと、全曹青の羅針盤が指し示す新たな事業計画、活動に取り組んでまいります。青年僧侶の集う、この大きな船の帆に身を任せ、ご推薦を賜りました尊い法縁に、微力ながら精一杯務めさせていただきます。新任に際し、ご法愛を賜りますようよろしく願いいたします。



東北管区理事 深瀬清光

この度、東北管区理事を務めさせていただきます山形曹洞宗青年会、深瀬清光と申します。全曹青執行部と共に、教化を含め、より良き社会の実現に貢献できる曹青を目指し、力を尽くしたいと思います。また東北選出の理事として、全国に東北曹青の活動を発信し東北の声を届けると共に、中央の情報を東北の会員にお伝えし、より全曹青と東北を近いものになりたいと思います。2年間よろしく願いいたします。



北信越管区理事 星野正親

今年度より北信越管区理事に就任いたしました曹洞宗石川県青年会の星野正親と申します。最近、禅への関心が広がっていると肌で感じています。今期のスローガン『禅を世界へ、そして未来へ』倉島会長を陰ながら支え、全曹青と管区各青年会との橋渡し役として精進しますので2年間どうぞよろしく願いいたします。



関東管区理事 松井泰信

初めて全曹青に参加させていただく配役が管区理事という大役で、私のようなものがこのような役目を担うのは恐縮ですが、引き受けたからには役を全うし、私自身も勉強させていただきたいです。そして、茨城県曹洞宗青年会の皆に全国には私たちと同じ年代の青年僧が素晴らしい活躍をしていることを伝え、ここで学んだことを還元したいと思います。浅学非才の身ではありますが精一杯務めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



ごあいさつ 管区理事



東海管区理事 田中亮孝

昨年より東海管区理事を務めさせていただいております、静岡第三同志会田中亮孝です。21期から22期へとバトンが渡され新たな事業計画が展開されていきます。全国のことを管区へ、管区のことを全国へと双方を繋ぐ役目を微力ではございますが精一杯務めさせていただきます。寺院を取り巻く環境が著しく変化をし、また甚大な自然災害が多発しております。青年僧として常にアンテナを高くし、連絡体制を整え、ネットワークを軽くしておくことが重要と考えます。しかしながらこうした活動が無事に運営されているのは諸先輩方の大変なご苦勞があつてのことです。先輩諸老師に畏敬の念を抱き謙虚な姿勢を忘れず諸行事に臨んでまいりたいと思います。青年僧として残り僅かな期間を全曹青会員各位と共に悩み、学ぶ期間として成長させていただき所存でございます。どうぞよろしく願い申し上げます。



近畿管区理事 吉川貴寛

和歌山県曹洞宗青年会の吉川です。通算2期目の理事であり、今年度が最後の年となります。全曹青の会務は誠に素晴らしいものであり、それを支える会長はじめスタッフの労力には、いつの時代も頭の下がる思いです。理事の立場を自覚し、全曹青の意思を近畿に伝え、近畿管区加盟曹青の思いを反映させるべく、職務を全うして行く所存でございます。残り1年ですが、よろしく願い申し上げます。



四国管区理事 里野和敬

この度、四国管区理事を務めさせていただきます四国地区曹洞宗青年会の里野和敬です。『禅を世界へ、そして未来へ』第22期スローガンでもありますように、禅が世界に未来へ良いものを遺すよう全曹青会員の皆様、執行部の皆様と共に考え歩みたいと思います。皆様どうぞよろしく願いいたします。



中国管区理事 糸賀一峰

この度、中国管区理事の任を関係各位のご了解を賜り拜命させていただきこととなりました、いずも曹洞宗青年会、糸賀一峰でございます。当管区には多才な人材が多く在籍する中で、愚生がその任にあたることは考えてもおりませんでした。歴代において、その任を全うされてこられた諸先輩には到底及びませんが、この様なご縁をいただいたことに感謝いたしまして、これからの任期を管区の和合並びに調整役にと務めてまいります。



九州管区理事 角田仁哉

このたび九州管区理事を務めさせていただきます、佐賀県曹洞宗青年会の角田仁哉と申します。「熊本地震」より1年が経ちました。たくさんのご支援をいただいた全国の御寺院様には厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。「九州はひとつ」のスローガンのもと会員相互の親睦と宗旨に根ざした人格を求め、また各県とのパイプ役としてこの重責を果たす所存でございます。よろしく願いいたします。



全国曹洞宗青年会

第二十三期会長選考について(公募)

会長選考委員会に於いて、会則並びに細則に従って左記の事項が決定されました。  
 全国曹洞宗青年会第二十三期会長に立候補する者は、左記の要綱に従い、  
 立候補届けを完了して下さい。

全国曹洞宗青年会 第二十三期会長選考委員会 委員長 深瀬清光

記

●全国曹洞宗青年会 第二十三期選考委員会 届出要綱

- 一、立候補届並びに履歴書の提出
- 二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出
- 三、推薦状 ①管区曹青年会代表者 ②曹青年会代表者
- 四、立候補に当たつての執行方針の提出
- 五、立候補届出先

「全国曹洞宗青年会 第二十三期選考委員会 委員長 深瀬清光」宛  
 〒九九六〇〇九一  
 山形県新庄市十日町七六四―一 英照院内  
 電話 〇三三三―二二―一五四五

- 六、立候補届け出期限 平成三〇年一月三十一日(水) 必着
- 七、立候補届け出方法 必ず郵便書留にてお願い致します。
- 八、選考委員会構成員

- 選考委員長 深瀬清光 (東北管区理事)
- 選考副委員長 里野和敬 (四国管区理事)
- 選考委員 倉島隆行 (第二十二期会長)
- 松井泰信 (関東管区理事)
- 田中亮孝 (東海管区理事)
- 糸賀一峰 (中国管区理事)
- 野村宣英 (北海道管区理事)
- 星野正親 (北信越管区理事)
- 吉川貴寛 (近畿管区理事)
- 角田仁哉 (九州管区理事)

※会則については、全曹青公式HP『報告』に掲載しております。 <http://www.sousei.gr.jp/>

広報委員会からの

お知らせ

連載予告

次号から2つの連載が始まります。ご期待下さい!

1.『Oh!くりさん』

寺院と檀信徒、寺院と地域の人々とのつながりのために毎月発行している「寺嫁のひとりごと」の作者、愛知県正壽寺寺族・早坂宏香氏による連載がスタートします。  
 お寺で暮らし始めたお嫁さんが、「禅」にふれ「Oh!びっくり! Oh!そうか! Oh!ここにも!」と玉手箱を開けてゆく日々の出来事を手書きのイラストと文字によって綴っていただきます。



2.『青年僧侶のおすすめの1冊』

今期スローガンのもと、1人の青年僧侶が本を読みながら、現代社会における仏教や禅、そして現代社会と僧侶のつながりについて考えていきたいと思えます。皆様にとってお気に入りの1冊が見つかりますように。



担当/広報委員 田ノ口太悟

平成29年7月  
 九州北部豪雨災害  
 お見舞い

この度の水害にてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。  
 不安な日々をお過ごしのことと思います。被災からの1日も早い復興をお祈り申し上げます。

全国曹洞宗青年会

表紙の話

幅広い視野をもって、今期のスローガンを歩む姿勢を魚眼レンズを使って表現しました。  
 撮影場所/岡山県倉敷駅前  
 撮影者/広報委員 菅悠生

紙質について

今期紙質の変更を行いました。  
 再生紙を使用することにより、環境に配慮した広報誌を目指します。  
 内容等において、ご意見・ご感想ございましたらいつでもお寄せ下さい。